

まちづくり委員会 基本方針（案）

副理事長 三石 昇太郎

まちづくり委員会 委員長 古林 史也

我々が暮らす鳴門市板野郡は風光明媚な自然環境を有し、食のブランドの宝庫でもあり、阿波和三盆や藍染めなどの伝統文化が受け継がれている魅力あるまちです。空港や高速道路など交通の便に恵まれる中、観光客数は昨年と比べ減少しており、その背景にはまちの魅力が十分に内外へ伝わっていないためと考えます。従って今以上に観光資源を活用するとともに交流人口を増やし我々の暮らすまちの魅力を広く発信していく必要があります。

まずは、我々のまちには豊かで誇れる営農環境や漁業環境があり、今後のさらなるまちの発展や持続可能な社会の実現に向けてその強みを活かしまちづくりを進めていきます。さらに、大阪関西万博の開催に伴い、各市町がどのような取り組みを計画し、我々がこの取り組みに対してどう関わっていけるのかを探り、鳴門市板野郡が四国の玄関口として新たな人の流れを創出し魅力を県内外にPRしていくことでさらなる交流人口拡大を図ると共に、地域の魅力を発信していき観光資源を活用した地域の方々が住みたいと思う誇れるまちづくり例会を開催いたします。そして、まちがもっとにぎわうために地域の特性をより活かした観光振興が必要であり、世界三大潮流の一つでもある鳴門海峡で獲れる鳴門鯛や国が掲げているスポーツの成長産業化を推し進めていくまちづくり事業を開催いたします。また事業を開催するにあたって、地域の団体や企業様と連携し、魅力あるまちの文化や伝統を発信し、自然豊かな鳴門市板野郡の強みを最大限に活かしていくことで、地域の賑わいを創出し、住みたいと思っただけのさらなるまちの発展につながると考えます。

明るく豊かな社会の実現に向けて地域の方々と連携し、地域の課題や可能性を見据えながら、まちのことを考えて、まちを愛し、まちのために行動することで持続的な発展を促すことにつながり笑顔が満ち溢れた、私たちの誇れるまちになることと確信しております。

SDGs 9、11、14、15、17

【事業計画】

1.8月事業の企画・設営

2.11月誇れるまちづくりの例会の企画・設営